

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表：令和4年4月1日

事業所名 いろえんぴつ

保護者等数(児童数) 14人 回収数 12人 割合 86%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12			2		スペースを生かし、より一層、安心・安全を第一に活動します。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12			2		改めて配置、専門性が適正か確認します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12			2		子ども達が安心して活動できるように設備等を見直します。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12			2		保護者様や子どもからのヒヤリング、アセスメントから冰山モデルを作成し、客観的に分析しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12			2		遊びから学べるように、子ども達の意見を日々聞き入れながら固定化を防ぎます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6			6		障がいのない子どもと活動する機会はありませんが、幼稚園等、他の施設との活動機会も増やします。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12			2		特に子どもの利害、保護者様の負担にかかる重要な事柄については、重点的に説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12			2		日々の子ども達の活動や変化については、電話、SNS等で、情報伝達し、保護者様との間で共通理解を持っている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12			2		訪問、来所、電話、LINE等で必要な助言を行います。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		12		2		保護者様同士の連携、支援の為の仕組みを構築させます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2		3		子ども、又は保護者様(各保護者様の9割以上とLINE交換している。)からの相談には、迅速かつ適切に対応します。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12			2		保護者様に対しては電話、SNS等で、子ども達に対してはあらゆる手段で意志の疎通を図るべく努力をします。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12			2		ホームページ、ブログ等で日々の活動は更新していますが、より一層わかりやすくします。
14 個人情報に十分注意しているか	12			2		保護者様の許可なく、又、支援、サポートの目的以外で、外部漏洩することがないよう厳重に管理します。	

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12		2		マニュアルは作成しています。訓練実施は早急に行います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12		2		半年に1回の訓練実施を行います。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	12				通所してよかったと思えるように努力いたします。
	18	事業所の支援に満足しているか	12		2		子ども達、保護者様等のご意見を踏まえ、より一層充実した支援、サポートを行います。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

+